

美作建設第 58 号
平成20年10月 2日

国土交通省道路局長 殿

岡山県美作市長 宮本俊朗



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案については、下記のとおり回答します。

記

今後の道路行政についての意見・提案

- ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案 . . . 様式1
- ②－1 地域の現状と抱える課題 . . . 様式2
- ②－2 地域の目指すべき将来像 . . . 様式3
- ③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価） . . . 様式4

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岡山県美作市

県内においても都市部、地方部で道路事情は異なり、地域の活性化、地域格差の解消など各々の地域事情に応じた施策が必要である。

道路の維持管理等について地域住民などと連携・協働し地域ニーズに即した道路行政の推進。

公共交通機関の整備された都市部と異なり生活上乗用車への依存の高い地方部のネットワーク形成が優先すべきであり、渋滞対策、狹隘区間の拡幅、歩道の整備が先ず必要である。

※都市部の渋滞解消については交通機関利用促進等のソフト面での対応が可能

- 橋梁長寿命化について計画策定後の補助内容（方針）を明確にすることが必要。
臨時交付金事業での対応では県内での優先順位等の兼ね合いにより修繕計画が計画倒れになる。
修繕計画が計画どおり推進できるかたちでの補助メニューが必要である。
- 跨道橋（特に高速道路上）については、通常の維持補修は各自治体での対応が必要と考えるが大規模な修繕及び橋梁アンダー部の高速道路への影響が顕著な工事については設置者である NEXCO（旧公団）での対応が必要と考える。）
- 美作市内で現在工事中の中国横断自動車道姫路鳥取線（佐用～西粟倉）および地域高規格道路の美作岡山道路の早期開通

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

岡山県美作市

○現状

平成１７年３月３１日に６町村合併により、面積４２．９ｋ㎡の広域な美作市が誕生しています。

道路の整備状況については旧町村間の地域格差が大きく、現在道路整備に投入される予算も限られ、更に補助金の導入についても減少の一途であることから、なお地域格差について打開できない状況となっている。

課題

現状の地域格差により人口流出による過疎化が進むことが懸念されると同時に高齢化の進展が著しい状況である。

これをふまえ来年度から予定されている道路特定財源一般財源化についても地方部にも目を向けて頂き、単なる採算性の追求だけでなく、地方部の活性化、自立に必要な地域の基幹道路や災害に強い道路の整備、過疎地域対策など地方の実情・意見を十分に認識した上で地方部へ導入する道路財源の確保をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２ 地域の目指すべき将来像

岡山県美作市

過疎地域である当市においては、現在の道路整備では不十分であり、移動手段の主が自動車である現状を踏まえ、市内地域全体の発展のため平成 18 年度において美作市道路整備指針を策定し、次のみちづくりを将来像としてとらえ整備を推進する。

1. 日常生活圏の拡大に対応したみちづくり
 - ・広域的な交流・連携を支援する道路整備
 - ・市域の拠点間の交流・連携を支援する道路整備
2. 快適な生活を支えるみちづくり
 - ・市民の日々の生活行動を支援する道路整備
 - ・福祉サービスの向上を支援する道路整備
 - ・地域の公共交通機関の充実化を図る道路整備
3. 地場産業の活性化を支援するみちづくり
 - ・産業の活性化を支援する道路整備
 - ・観光施設の集客を促進する道路整備
4. 安全で安心できる暮らしを確保するみちづくり
 - ・交通事故の軽減を図る道路整備
 - ・緊急車両の速達化を図る道路整備
 - ・災害時や緊急時のライフラインを確保する道路整備

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

①道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岡山県美作市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 中心市街地活性化計画 都市再生整備計画	・ 商業機能の改善、交流機能の向上、景観整備を目的とした重点整備地区として整備。 まちづくり交付金事業の活用により地域の活性化及び心和む空間としての景観形成を実施。 主な整備内容 ・ 地域交流センターの整備 ・ モニュメント整備※ ・ 足湯整備※ ・ 市道景観舗装※ 以上市整備 ・ C C B 整備※ ・ コミュニティー道路整備※ 以上県整備（関連事業） ※整備もしくは整備中	・ 期待する効果 地域全体の活性化を図ることにより地域の魅力を強化し観光客の増加を図る。 これにより地域の自立を支援し商業機能の改善、交流機能の向上が図られる。 ・ 評価 景観の形成、観光施設の整備により若干ではあるが歩行者交通量には増加が見込まれるが、現段階観では観光客数の増加には繋がっていない。 今後予定の整備と合わせ計画の見直しを検討していく必要がある。	